

令和4年度第1回釧路方面釧路警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和4年6月13日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで

2 開催場所

釧路方面釧路警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 11人(定員11人)

会長 星 匠

副会長 川村 敦子

委員 奥田 陽子、菊池 吉史、梅崎 明生、白田 和史、安藤 祐子、
箕島 弘幸、吉村 眞由美、小畑 由紀、鈴木 幸雄

(2) 警察署員 7人

署長 藤原 陸実

副署長 青木 俊英

刑事・生活安全官 佐藤 輝久

地域官兼地域課長 山中 芳起

交通官 藤田 大

警務係長(事務局)

4 会長挨拶

本年、初開催となりますが、協議会は市民の意見を直接警察に届ける貴重な機会でありますので、それぞれの立場で意見を出してもらい、管内の安全・安心の確保に寄与していただきたい。

5 署長挨拶

警察署協議会につきましては、警察に対して市民の皆様から幅広く意見・要望等を伺って、警察署の運営に反映していくために設置されたものです。

皆様から忌憚のないご意見をお聞かせ願いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

6 新委員の自己紹介

7 新しく着任した幹部の紹介

8 業務説明

(1) 犯罪の発生状況と防止対策

(2) はまなす活動について

(3) 交通事故発生状況と取組状況

9 協議内容

(1) 犯罪の発生状況と防止対策

委員：道内で発生しているオレオレ詐欺はどのような内容か。

警察：警察署の警察官を名乗り、「あなたのキャッシュカードが悪用されてい

る」、「そのキャッシュカードを捜査で使う」などと話して、警察の捜査を理由に、キャッシュカードを自宅まで取りに行き、そのカードの暗証番号を聞いて、キャッシュカードを別のものとすり替えて持って行くという手口の事件の発生が続いている。

今後も金融機関、コンビニエンスストア、運送会社とのネットワークを構築して各種防犯対策を推進する。

また、当署では「詐欺電話がきたら#9110」のフレーズで詐欺相談電話の周知を図ることとしている。

(2) はまなす活動について

委員：老朽化した空き家について防犯上、影響が出る可能性があるので解体等を検討しているが、市からの補助金等を含め対応策を教えて欲しい。

警察：市からの補助金は空き家の状態により変わると思うが数十万円位と聞いている。

前回の書面開催に際し、提言頂いた件は、資料のとおりとなる。

いまだ継続中のものあるので、ご意見等いただければ反映したい。

また、防犯対策についても継続したい。

(3) 交通事故発生状況と取組状況

委員：北海道における自転車利用者のヘルメット着用率が低いとテレビで放映されていたが、釧路管内でのヘルメット着用率はどのくらいか。また、ヘルメット着用の向上に向けての対策などはあるか。

警察：釧路管内のヘルメットの着用率は把握していない。

対策については、各学校で実施している交通安全講話の際にヘルメット着用を呼びかけている。

今後も推進して呼びかけを行い、着用率の向上を図りたい。

(4) 質疑応答

委員：阿寒の駐在所前に木が生えており、それによって車や歩行者からの駐在所が見えにくく、釧路市街地方向からきても相当近づかないと駐在所の赤色灯が見えないので、街路樹の伐採を依頼してほしい。

警察：担当する行政機関に依頼したい。

委員：全道的に連続発生している車上ねらいがあると聞いたが、釧路署管内で連続発生している車上ねらいはあるか。

警察：釧路管内で連続発生しているものはない。

ただ、全道的には連続発生しているので、引き続き車内に物を置かないなど自主的な防犯対策を継続してほしい。また、当署としても引き続き対策を推進していきたい。

委員：電話機を使用した特殊詐欺対策について、録音していると伝える装置が普及すれば詐欺被害を防ぐことができるのではないか。

警察：電話に取り付ける機械は、その効果が高いため、警察署から各自治体に、

補助金に関する制度を構築するよう依頼している。

10 次回開催予定

次回の開催は令和4年9月頃を予定している。

諮問事項については

「防災津波対策について」

を予定している。